

2024 年 6 月 1 日

エルピクセル、医療画像診断支援 AI「EIRL」が全国 47 都道府県の医療機関に導入へ

エルピクセル株式会社（本社：東京都千代田区）は、医療画像診断支援 AI「EIRL（エイル）」シリーズが 47 都道府県全てに導入されたことを発表した。

離島や過疎地域など、医療画像の読影に精通した熟練医の不足や高齢化、定期健康診断における胸部 X 線検査など大量読影による医師のオーバーワークを背景に医療現場では見落としリスクの軽減に寄与する医療 AI が求められている。

エルピクセルが提供する EIRL シリーズは、2019 年 10 月に販売開始した脳 MRI 画像から脳動脈瘤の候補点を検出する医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Aneurysm（エイルブレイン アニュリズム）を皮切りに、頭部・胸部・大腸の 3 つの領域で 9 つの製品をリリースしてきた。これまで大学病院から診療所まで累計 800 以上の幅広い層の医療施設に導入され、解析件数は 640 万件を突破するなど日本全国の画像診断を支援している。

引き続き、EIRL は医師に寄り添うパートナーとして、既存プロダクトのアップデートに加え、対象領域や対象所見の拡大を目指し開発を進めていく。また、国内だけでなく海外におけるニーズを発掘し、EIRL の海外進出を推進していくとしている。